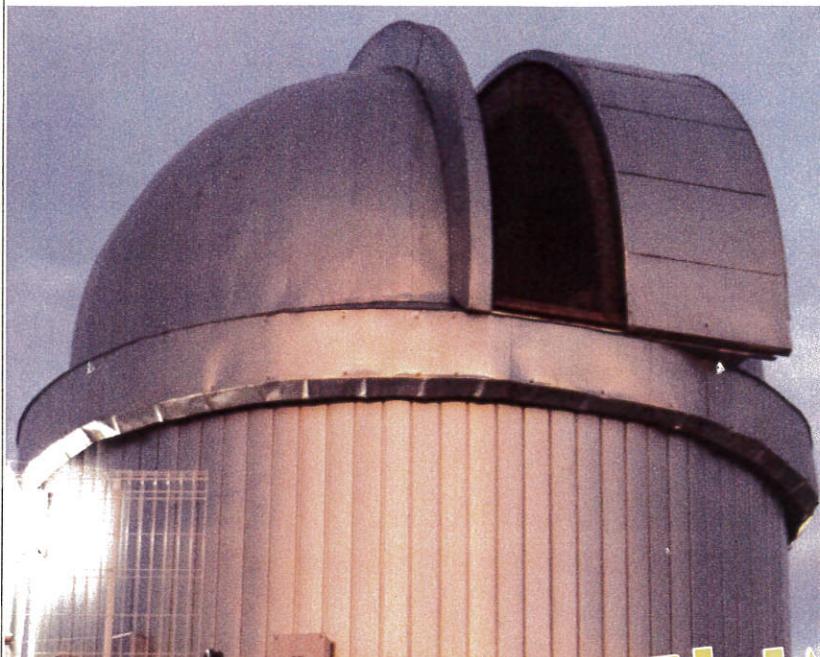


# 東高のシンボル



## 彼方を望む天体ドーム

HIKAKUHGASHI  
5 GO

現在の天体望遠鏡は平成27年の春から第二校舎屋上の天体ドーム内に設置されている。また天体ドームは昭和30年に彦根地方気象台から譲り受けたものを今も使い続けている。天体ドームでは毎年秋にSS部地学班が行う天体観測会や、地学選択生を対象とした天体観望会、太陽の観測実習が行われている。

理科の北川明照先生は天体望遠鏡について「県下で天体望遠鏡があるのは本校と膳所高校、米原高校の3校しかなく、全国的に見ても天体望遠鏡は伝統校や進学校のシンボルになつてゐると思う。本校を訪れた人にもよく珍しいと言われる」と話された。

## 東高生 気になるところランキング

1位	天体ドーム
2位	御座所
3位	校長室

### 生徒の気になる場所は? アンケート結果

アンケート結果のベスト3は左図のようになつた。気になつていた所はあつただろうか。皆さんが気になつた所も一度自分で調べてみてはどうだろうか。

今回の冬キマグレは12月に行われたアンケートの「学校施設の中で内部を見てみたいと思うものは何ですか」という質問にて多くに票を集めたものを特集する。またその中でもほかの項目と大きな差をつけて1番票を集めた本校天体ドームを大きく取り上げる。



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金龜町4番7号

## 天体望遠鏡の歴史

現在の天体望遠鏡が設置される前に設置されていた天体望遠鏡は昭和8年に製造されたものであり、現存する天体望遠鏡として日本でもトップクラスの歴史を誇っている。その歴史を買われ、香川県天体望遠鏡博物館に寄贈されたことにより、現在の天体望遠鏡が設置されることになったそうだ。



▲天体望遠鏡から見た月(地学班撮影)



★★★★★

### 望遠鏡の性能

レンズ 15cm  
焦点距離 900mm  
倍率 250~300倍